

使用経験: セラプラス™ 皮膚保護剤

リモイステクノロジー使用*

症例研究 11

要旨

ストーマ周囲の皮膚の合併症の発生率は高く、ストーマ患者の半数以上が生涯のうちにストーマ周囲の皮膚の問題を経験しています¹。合併症の種類、その理由、それらを治療する方法は、それぞれ大きく異なります。医療従事者は、ストーマ周囲の皮膚の合併症の対処に多くの時間と労力を費やしています。患者にとって、ストーマ周囲の皮膚の痛みは、生活の質に大きな影響を与えかねません。ストーマ周囲の皮膚の合併症は、ストーマ造設後の最も一般的な術後合併症です²。この症例研究で、そのような症例の1つをご紹介します。

目的

患者に適した皮膚保護剤を選択し、ストーマの周囲に皮膚保護剤が適切に密着することで、ストーマ周囲の皮膚の異常を改善させ、その状態を維持すること。

患者の概要

この患者は、潰瘍性大腸炎を患う成人女性です。ステロイド剤による生活の質の低下と合併症のため、回腸囊肛門吻合術 (IPAA または J-Pouch) が行われました。手術の時点で、この患者は毎日 60 mg のステロイド (プレドニゾン) を服用していました。毎週 10 mg ずつステロイドを離脱し始め、WOC 看護師と最初に接触した時点では 40 mg を服用していました。

問題

この患者は、多い日で 1 日 3 回ストーマ装具を交換する必要があるほど頻繁に漏れが生じていたため、在宅ケアを紹介されました。この問題は入院中に始まり、退院の 2 週間後に WOC 看護師に会うまで漏れに悩まされていました。腹部は薬剤が原因で腫れていましたが、目に見える皮膚びらんを残しながらも徐々に快方に向かっていました (写真 1)。

評価時に明らかな粘膜皮膚離開があり (写真 2)、この患者は、皮膚保護剤をさらに大きくカットすることで対処しようとしていました。これにより、ストーマ周囲の皮膚が剥離して炎症を起こし、出血と「ひりひりした痛み」が伴うようになりました。ストーマの位置はへその近くであったため、皮膚保護剤を腹部に合わせて密着させることも困難でした。

介入

この患者は、2 つの異なるメーカーの平面装具 (長期装着用・単品系・フリーカット) を使用していました。凸面装具を試しましたがうまくいきませんでした。WOC 看護師は、粘膜皮膚離開はステロイド剤が原因である可能性が非常に高いことを説明しました。ストーマ周囲の皮膚刺激の治療には、ストーマパウダーと皮膚被膜剤が使用されました。その後、患者はストーマペーストの適切な使用方法の指導を受け、セラプラス凸面装具 (単品系・フリーカット) がベルトで固定されました。これもへそに若干被るものでした。

裏に続く



写真1 目に見える皮膚びらん。



写真2 明らかな粘膜皮膚離開。

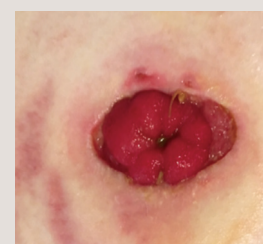


写真3 粘膜皮膚離開の基部における肉芽組織の改善。

使用経験: セラプラス皮膚保護剤

リモイステクノロジー使用*

著者および所属:

Angela Graham RN, BSN, CWOCN
Alacare Home Health and Hospice
アラバマ州バーミングハム

症例研究 11

転帰

7 日後の評価で、患者は自分が「新しい女性」になった気分であると述べました。3 日目にパOUCHを交換し、その 4 日後に WOC 看護師に診察を受けるまで、装具を着用することができました。漏れはなく、ストーマ周囲の炎症は目に見えて改善しました。肉芽組織の改善は、粘膜皮膚離開の基部で明らかでした (写真 3)。この患者は、メーカーの退院プログラムを通じて、ヘその領域により密着する、より小さなセラプラス凸面装具 (単品系・フリーカット) を受け取りました。彼女はこの製品の使用を継続し、14 日後の WOC 看護師とのフォローアップの電話では、皮膚刺激や漏れは報告されませんでした。この患者は在宅ケアを終了し、今後数ヶ月以内に閉鎖術が行われる予定です。

結論

ストーマ患者の多くは、ストーマ周囲の皮膚の問題を経験し、ストーマを造設したら仕方のないこととしてそれらの問題を受け入れています³。幸いにも、この患者は助けを求め、ストーマ周囲の皮膚に明らかな改善が見られました。皮膚刺激を軽減する手段として、面板をストーマの周囲に適合させ、漏れを防ぐだけでは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に保つのに十分ではないかもしれません。皮膚保護剤の配合成分もまた、ストーマ周囲の皮膚の健康状態に影響を及ぼします。皮膚保護剤の配合成分と密着感の最適な組み合わせを見つけることは、ストーマ周囲の皮膚を健康な状態に維持するために不可欠です。

参照:

1. Richbourg L, Thorpe J, Rapp C. Difficulties experienced by the ostomate after hospital discharge. J Wound Ostomy Continence Nurs. 34(1):70. 2007.
2. Meisner S, Lehur P-A, Moran B, Martins L, Jemec GBE. Peristomal Skin Complications Are Common, Expensive, and Difficult to Manage: A Population Based Cost Modeling Study. PLoS ONE. 2012; 7(5): e37813.
3. Whiteley IA and Sinclair G A Review of Peristomal Skin Complications Following the Formation of an Ileostomy, Colectomy or Ileal Conduit. World council of Enterostomal Therapists Journal, 2010; 30(3) p. 23-29.

この症例研究は、特定の患者にセラプラス凸面装具 (単品系・フリーカット) を使用した場合の一人の看護師の経験を示すものであり、すべての患者の状況に当てはまるとは限りません。



*リモイスはアルケア株式会社が所有する技術です。

使用する前に、使用目的、禁忌、警告、注意事項、および使用方法について使用説明書を必ずお読みください。



すべての製品にCEマークが付いているわけではありません。

Hollister のロゴおよびセラプラスはホルスター社の商標です。その他すべての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。© 2016 Hollister Incorporated



Hollister Incorporated
2000 Hollister Drive
Libertyville, Illinois 60048 USA
1.800.323.4060

www.hollister.com